



## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **03205057 A**(43) Date of publication of application: **06.09.91**

(51) Int. Cl.

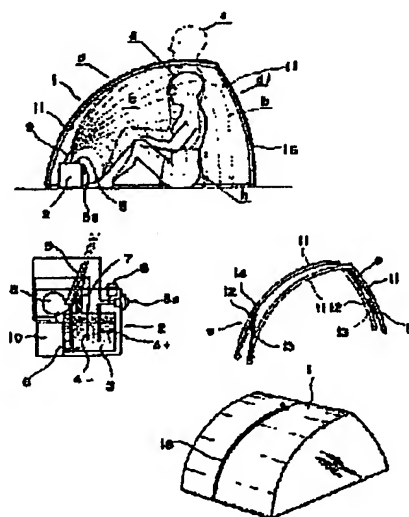
**A61H 33/06**(21) Application number: **02000232**(22) Date of filing: **04.01.90**(71) Applicant: **SAKAKIBARA TEC:KK YAMADA TERUHIKO**(72) Inventor: **YAMADA TERUHIKO  
YAMAGUCHI MITSU HARU****(54) SIMPLE WARM HEATING MIST DEVICE****(57) Abstract**

**PURPOSE:** To permit the use in a bathroom and secure the speedy effectiveness in warm heating by installing a warm heating mist generator at a proper part of a room shaped body having a relatively small space part and attaching the warm heating mists on a human body.

**CONSTITUTION:** As for a room shaped body 1, a cover 15 is fixed, conforming to the shape, on a frame 11, and the frame 11 can be opened and contracted to the side by a center bent connecting rod 13, and a fastener 16 is installed in the center longitudinal direction from the top part to the front part of the cover 15. Accordingly, the structure with which a human body (a) is confined or the head surface part can be exposed is formed, and a warm heating mist generator 2 is installed at a proper place of the room shaped body 1 having a space part (b), and the generated warm heating mists (c) are dispersed into the room shaped body 1, and the warm heating effect is provided onto all the surfaces of the human body (a). As for the warm mist generator 2,  $\pm$  electrodes 4 are installed oppositely at proper intervals in a water tank 3, and immersed into water, and the water as the electric conductor between the electrodes 4 is boiled, and adjusted to a temperature suitable for warm heating by an adjuster 5, and the warm water supplied from a warm water suction nozzle 6 and the steam supplied from

an air suction nozzle 7 are mixed by the compressed air of an air pump 8, and injection-dispersed in the warm heating mist form from an injection nozzle 9 under pressure.

COPYRIGHT: (C)1991,JPO&amp;Japio



## ⑫ 公開特許公報(A) 平3-205057

⑤ Int. Cl.<sup>5</sup>

A 61 H 33/06

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成3年(1991)9月6日

A  
M  
Q7720-4C  
7720-4C  
7720-4C

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全3頁)

⑭ 発明の名称 簡易温熱ミスト装置

⑮ 特 願 平2-232

⑯ 出 願 平2(1990)1月4日

⑰ 発 明 者 山 田 照 彦 愛知県名古屋市北区金城町4丁目13番地  
 ⑱ 発 明 者 山 口 光 治 愛知県西春日井郡豊山町豊場富士101番地  
 ⑲ 出 願 人 株式会社サカキバラテ 愛知県宝飯郡一宮町大字大木字小牧179-6  
 ツク  
 ⑲ 出 願 人 山 田 照 彦 愛知県名古屋市北区金城町4丁目13番地

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

簡易温熱ミスト装置

## 2. 特許請求の範囲

- (1) 比較的小空間部を備える室形容体の適部に温熱ミスト発生器を設けて人体に温熱ミストを被当させることを特徴とする簡易温熱ミスト装置。  
 (2) 室形容体はフレームにカバーを做形被着固定し、該フレームは中折連結杆に依り側方開縮可能であることと、該カバーの頂部から前部までの中央縦方向にファスナーを付設する請求項1項記載の簡易温熱ミスト装置。

## 3. 発明の詳細な説明

## 〔産業上の利用分野〕

本発明は、水成分の温熱ミストに依る人体温熱効果を得ようとするものである。

## 〔従来技術〕

従来此種のものは多人数が使用できる業務用のミストルームがある。併し乍らこれを家庭用として使用可能なものとするに温熱ミスト発生器及ル

ームの設定を確立せねば成らず甚だ問題がある。

## 〔課題の解決手段〕

本発明は斯る問題を解決せんがため下記の如く手段に依って実施可能にするものである。第1図乃至9図の如く、人体aを閉込め又は頭面部が露出可能な構造に成したる空間部bを設ける室形容体1の適所に温熱ミスト発生器2を据設し、発生し得た温熱ミストcを室形容体1内に拡散し人体aの全表面に温熱効果を与える。温熱ミスト発生器2は一例としての技術要素は水タンク3に十の電極4を適当間隔を設けて対向水浸させ電極4間の電導体の水に依って沸騰し温熱に適する温度を調整器5で調節し、水タンク3に没する吸湯ノズル6と水タンク3の上部に設ける吸気ノズル7は空気ポンプ8からの圧送ノズル9の側壁に連通し、空気ポンプ8の圧送空氣に依り、吸湯ノズル6を経て温湯及吸気ノズル7を経る蒸気はスプレー現象で混合され温熱ミスト状に圧送ノズル9から噴出拡散される。これらの電源はバッテリー10又は家庭用交流電気を直流変換して取入れ、又温熱

ミスト作動時間をタイマー5aで計測し得る。前記の如く、温熱ミスト発生方法は必ずしも限定はしなくその他超音波発振体を利用しミストを造成したり、本発明は他の有用なミスト発生方法を利用する。室形容体1の形成は、理想として上部から前部側に緩曲形dに成し背部は急角度の緩曲形d1を形成するそれらのフレーム11間に、一方向即ち上部方向のみ屈折eして両側フレーム11を収縮し、展開fした状態で中央部の連結部12の片方側の連結杆13のストッパー14で屈折規制し、それらの連結杆13をフレーム11間の適部に連結し設ける。前記の如く、フレーム11に可とう性の防水布、樹脂シート及それら内側にアルミ膜等コーティングした複合材シートで倣形したカバー15を一般方法でフレーム11に被着固定し、それらの頂部から前部への中央部にファスナー(チャック)16を設け頂部に於いては人体aの頭面部が外部に露出可能なファスナー16の締め残しに依る露出孔17を任意に設け、頂部から前部側のファスナー16の解係に依ってカバー15は観音開き状に成り人体の出入可能

にし、又頂部から前部のカバー15は透明シートに成す。依ってフレーム11と一体に成ったカバー15はフレーム11の折畳gに倣形する。人体aの頭面部の露出手段は腰掛hに座するに依って可能である。

#### 〔作用〕

本発明は、比較的小さな空間部bに依って温熱ミスト発生器2の動力的その他の消費量を小さくし温熱速効力が得られ温熱ミストを被当する人体の皮膚毛孔等の開孔に依り老廃物の浮出等を促がすことと、折畳み機能に依り狭い場所での使用に適する。

#### 〔効果〕

叙上の如く本発明は、折畳み展開が小形に成る故に浴室での使用が可能であり、小空間部bに依り温熱速効性があり、併も簡便な機能でコスト低額が計られ、人体の健康増進が期待できる。

#### 〔実施例1〕

図示しないが、室形容体は限定せず、人体が入室し頭面部露出も可能な板状折畳み固型体又は可

とう性素材で成した温熱ミスト用のあらゆる形体の室形容体であることを特徴とする。

#### 〔実施例2〕

図示しないが、温熱ミスト発生器は限定せずあらゆる本発明に有用な公知実施可能なものを利用する。

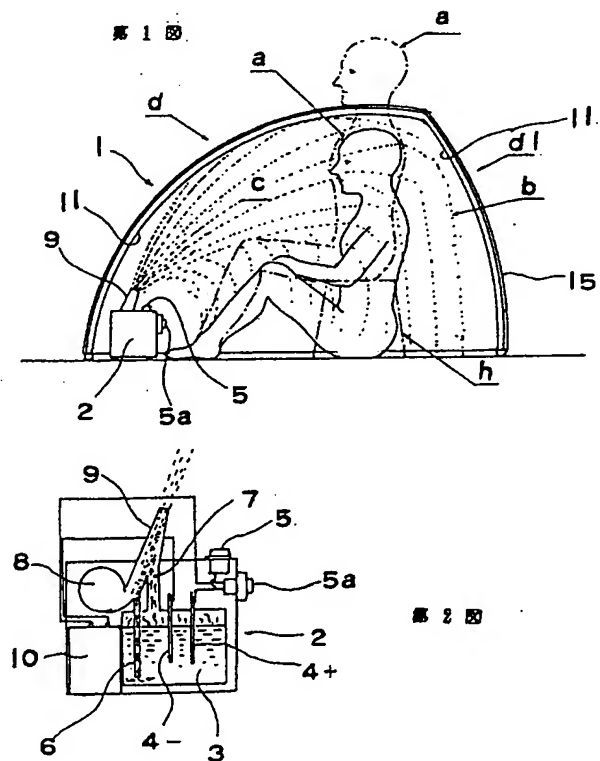
#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の概念図、第2図は温熱ミスト発生器の概念図、第3図はフレームの斜視図、第4図は半折畳状態の背面図、第5図は折畳状態の斜視図、第6図はカバーの斜視図、第7図は要部切斷斜視図、第8図は開状の斜視図である。

1: 室形容体 2: 温熱ミスト発生器 3: 水タンク 4: 電極 5: 調整器 6: 吸湯ノズル 7: 吸気ノズル 8: 空気ポンプ 9: 圧送ノズル 10: バッテリ 11: フレーム 12: 連結部 13: 連結杆 14: ストッパー 15: カバー 16: ファスナー a: 人体 b: 空間部 c: 温熱ミスト d: 緩曲形

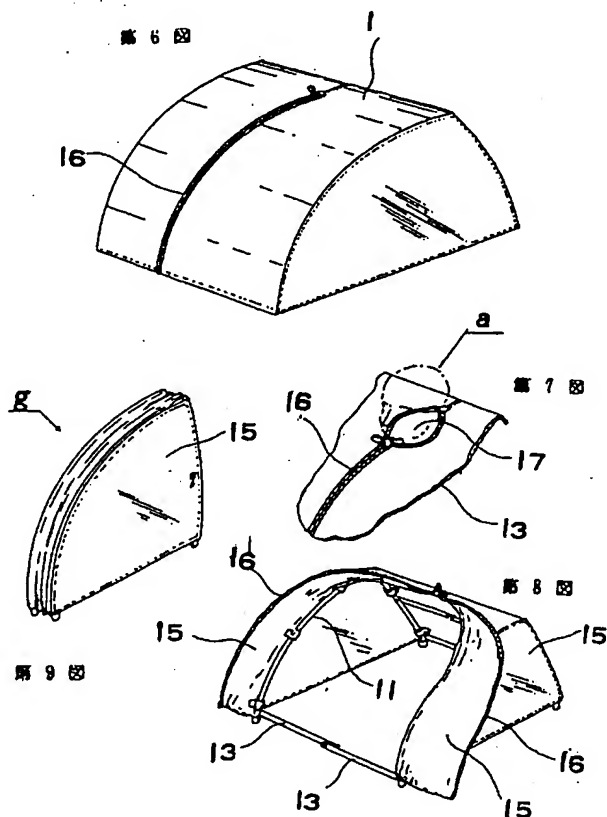
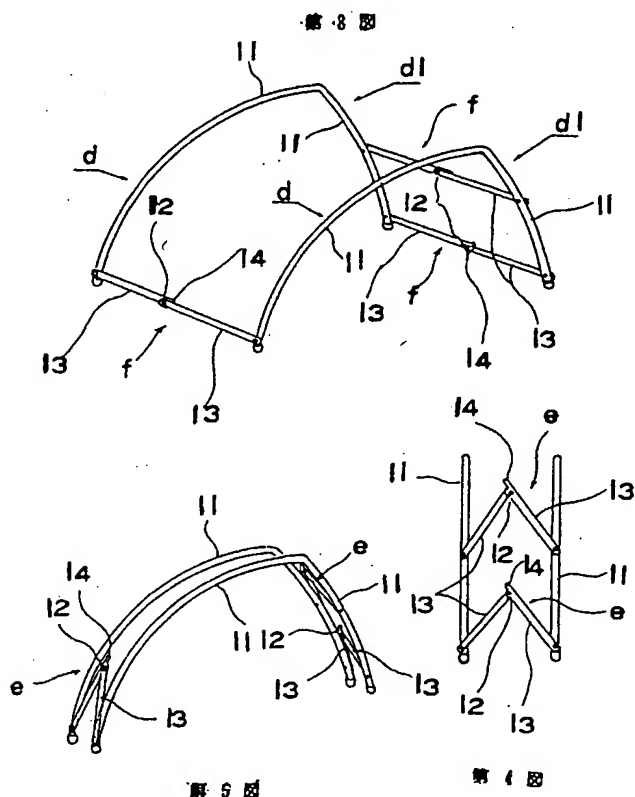
特許出願人

株式会社サカキバラテック



第2図





手続補正書(方式)

平成2年5月8日

特許庁長官 吉田文毅殿



1. 事件の表示

平成2年特許願第232号

2. 発明の名称

簡易温熱ミスト装置

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

居 所 愛知県宝飯郡一宮町大字大木字小牧179の6

名 称 株式会社 サカキバラテック

代表者 榊原 清 隆

(外1名)



4. 補正命令の日付(発送日)

平成2年4月24日

5. 補正の対象

明 細 書

6. 補正の内容

別紙の通り



手続補正書(方式)

特願平2-232号

本願発明に関し願書中下記の如く補正する。

記

願書中「4.図面の簡単な説明」の項を次の如く訂正する。

「第1図は本発明の概要図、第2図は温熱ミスト発生器の概略図、第3図乃至第5図は本発明のフレームを表わすもので、第3図は斜視図、第4図は半折畳み状態の背面図、第5図は折畳み状態の斜視図である。

第6図乃至第8図は本発明のカバーを表わすもので、第6図は斜視図、第7図は要部部分斜視図、第8図は開いた状態の斜視図であり、第9図は本発明の折畳んだ状態を表わす斜視図である。」

以上